

米谷出張所だより

米谷出張所は、岩手県境から分流施設上流までの北上川を管理しています。
ここでは、出張所管内での様々な活動をお知らせいたします。



降雨により北上川の水位が上昇しました



8月3日以降に岩手県で発生した記録的な降雨により、米谷出張所管内の水位も平常時と比べ大幅に上昇しました。管内を巡視した結果、緊急に対応を要する異状はありませんでした。

増水時は河岸の崩落が発生する恐れがあり、危険ですので川に近づかないようお願いいたします。

		水位上昇前 (8月3日05時00分)	最高水位	※参考情報 令和元年10月 (台風19号) 最高水位
①	大泉水位観測所	0.01m	6.64m (8月14日24時00分)	8.00m
②	米谷水位観測所	4.54m	9.18m (8月14日24時00分)	10.42m
③	登米水位観測所	3.68m	7.41m (8月15日02時00分)	8.52m

北上川左岸37.2k (米谷大橋)

【平常時】



【増水時】



北上川左岸49.0k (岩之沢排水樋門)

【平常時】



【増水時】 ※本川からの逆流防止のため、閉門しています。



～ お願い ～

みなさまがお住まいの地域の堤防周辺で普段と違うなど、お気づきの点がありましたら、米谷出張所までご連絡をお願いいたします。





水門等水位観測員1名を表彰

北上川の出水に備え、日頃から地元の方に水門等水位観測員として水門や排水樋管の操作にご協力いただいております。(米谷出張所管内では、23施設を43人の水門等水位観測員に委嘱しています。)

米谷出張所にて国土交通行政関係功労者への表彰式が行われ、水門等水位観測員として長く排水樋管操作業務に従事して頂いた方に米谷出張所長より表彰状が贈られました。これまでの功績に感謝するとともに、引き続き地域のためにご協力をお願いいたします。

北上川下流河川事務所長表彰



(勤続15年以上) 大沢水門 佐藤 一志さん

排水樋管のゲートを開けたり閉めたりする仕事をしているのが水門等水位観測員です。昼夜を問わず、長時間にわたる大変な仕事であり、地域の人たちの安全な暮らしは、水門等水位観測員によって守られています。



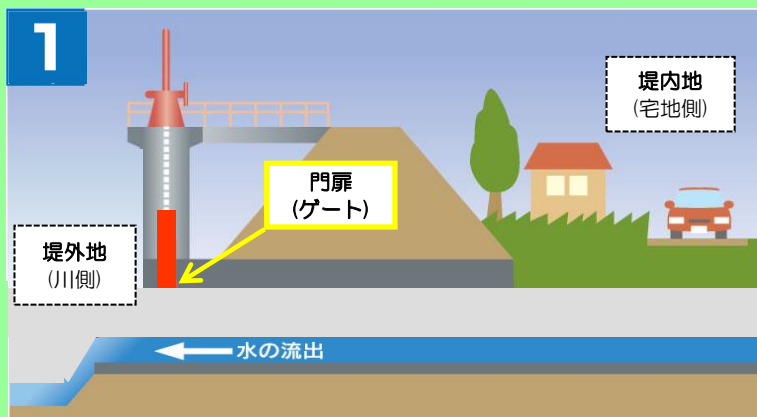
地域を洪水から守るために ~排水樋管の操作~

排水樋管とは...

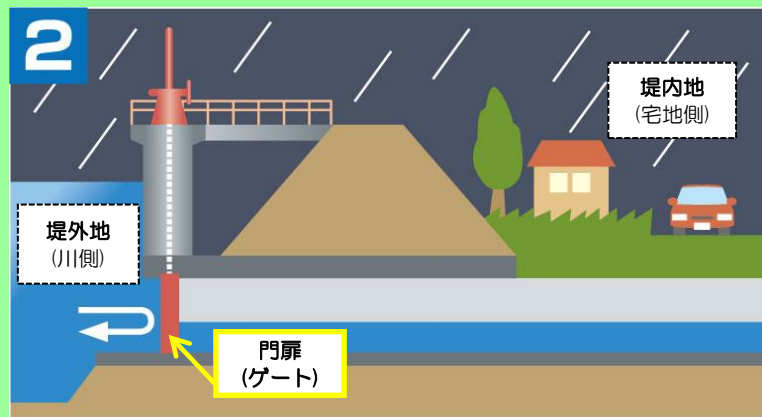
排水樋管は、堤内地の雨水や水田の水などを堤防の中を通して河川に流すために、堤防に設置される施設です。



排水樋管の役割



普段、川の水位が低いときは、堤内地の雨水等を川へ流すため、**門扉(ゲート)を開けています。**



大雨により川の水位が高くなると、川の水が宅地側へ逆流してしまい浸水等の被害がでるため、**門扉(ゲート)を閉め川からの逆流を防ぎます。**

